

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議(ビデオ/Web/音声)システム市場専門トレンドワッチ

Vol.28 No.7 2026年4月15日

導入・利用動向-国内

■ブイキューブ：出社回帰に伴う会議室不足を解消 OM デジタルソリューションがテレキューブを導入

(PRTIMES：3月19日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、OM デジタルソリューションズ株式会社 (東京都八王子市) が、防音個室ブース「テレキューブ」を導入したと発表。



OM デジタルソリューションズでは出社回帰に伴う会議室不足が課題となっていたが、執務エリア内のほか、エレベーターホールやロッカールームなどのデッドスペースにもテレキューブを設置することで、貴重な執務エリアのキャパシティを損なうことなく、大規模な工事を行わず、機密性を確保し快適な会議環境を構築した。

2020年10月に設立し、オリンパス株式会社の映像事業を継承した OM デジタルソリューションズでは、事業拡大に伴う人員増加やオフィスへの出社回帰が進む中で深刻な会議室不足に直面していた。

(1) 出社回帰と増員による深刻な会議室不足：事業拡大に伴う人員増加やオフィスへの出社回帰が進む中、既存の会議室だけでは場所が確保できない状況が発生していた。また、昨今の働き方の変化により Web 会議や 1on1 ミーティングの頻度が急増したことも要因だった。

(2) オープンスペースにおけるセキュリティと音漏れの懸念：執務エリアやオープンスペースでの会議実施も試みられたが、周囲への音漏れや機密情報管理の観点からセキュリティ上の懸念があった。また、取引先との打ち合わせなど機密性の高い打合せスペースの確保も急務となっていた。

(3) 設備工事に伴うコストと原状回復の課題：当初はパーティション工事による会議室増設も検討したが、消防法対応や空調・照明工事に加え、将来的な退去時の原状回復費用を含めると多額のコストがかかることが障壁となった。

テレキューブ採用のポイントとしては、以下の通り。

(1) コストとスピード導入：消防法対応や空調工事が不要で、電源さえあれば設置可能である点。(2) 柔軟な可動性：造作壁とは異なり「資産(家具)」として扱えるため、将来の移転やレイアウト変更時にも廃棄せず、移設して継続利用が可能な点。(3) 設置場所の柔軟性：執務エリア外のデッドスペースだったエレベーターホールやロッカールームへテレキューブを設置し、スペースを有効活用できる点。(4) デザイン性と快適性：高い遮音性を備えつつ、圧迫感のないガラス張りのデザインを採用、オフィスになじむ点。

テレキューブ導入による主な効果としては、以下の通り。

(1) 会議室不足の解消と Web 会議環境の最適化：高

まる Web 会議や 1on1 ミーティングの需要に対して、予約の取りづらい状況が続いていたが、テレキューブの導入により会議スペースのキャパシティが大幅に拡張された。特に 4 人用モデルは、単なる個人作業場としてだけでなく、複数人での打ち合わせ場所としても機能し、慢性的な会議室不足のストレスを解消した。

(2) 機密情報の保護と心理的安全性の向上：高い遮音性能を持つ個室空間が確保されたことで、オープンスペースでは躊躇される人事面談や設計製造委託を扱う会議も、周囲への音漏れを気にせず実施できるようになった。情報漏洩のリスクを低減し、社員が安心して業務に集中できるセキュアな環境が整った。

(3) 資産としての価値と将来的なコストリスクの回避：設備工事を伴う「設備」ではなく、移設可能な「資産（家具）」として導入したことで、将来のオフィス移転やレイアウト変更の際にも無駄にならないという。造作壁の撤去や原状回復にかかる将来的なコストリスクを回避しながら、変化に強い柔軟なオフィス運用が可能となったという。

導入後は、「音が漏れないので安心して話せる」と好評で、非常に高い稼働率で活用されているという。ガラス張りで解放感がありながらプライバシーが守られる空間は、重要な会議にも適しており、社員の働く環境の改善に大きく寄与しているとしている。

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー（4月）

「「会話+AI アバター」で変わる顧客体験」「失敗しない「社内コミュニケーションスペース」の作り方」など多数

会場：オンラインセミナー

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2026年4月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp